

## Google、「バックボタン ハイジャッキング」をスパムポリシー違反に追加。2026年6月15日からペナルティの対象に

Google は、スパムに関するポリシーに「Back button hijacking(バックボタン ハイジャッキング)」を追加した。

Google は、[スパムに関するポリシー](#)に「Back button hijacking(バックボタン ハイジャッキング)」を追加しました。

### バックボタン ハイジャッキングとは

バックボタン ハイジャッキングとは、ブラウザの「戻る」ボタンの機能を乗っ取り、ユーザーを意図しないページへ誘導する手法です。

ユーザーが「戻る」ボタンをクリック/タップした際に、直前のページではなく、攻撃者が指定した別のページ(広告やレコメンデーション、その他の予期しないページなど)へ強制的に遷移させます。

### 悪意のある行為として手動対策の対象に追加

バックボタン ハイジャッキングはユーザーエクスペリエンスを損ない、通常のブラウザ動作を破壊し、欺瞞的かつ操作的とみなされています。

こうした行為の増加を受けて、悪意のある行為がスパムポリシーの明示的な違反として正式にスパムポリシー違反の項目に Google は追加しました。

「[Malicious practices](#)(悪意のある行為)」セクションにバックボタン ハイジャッキングは追加されました。

※この記事を書いている時点では日本語ドキュメントは未更新のため、英語ページへリンク。また、以前のセクション見出しは「Malware and malicious practices(マルウェアや悪意のある行為)」だったが変更された

Malicious practices create a mismatch between user expectations and the actual outcome, leading to a negative and deceptive user experience, or compromised user security or privacy.

.....

Back button hijacking is when a site interferes with user browser navigation by manipulating the browser history or other functionalities, preventing them from using their back button to immediately get back to the page they came from.

悪意のある行為は、ユーザーの期待と実際の結果との間に不一致を生じさせ、否定的で欺瞞的なユーザー体験、またはユーザーのセキュリティやプライバシーの侵害につながります。

(中略)

バックボタン ハイジャッキングは、ブラウザの履歴やその他の機能を操作してユーザーのブラウザ操作にサイトが干渉し、戻るボタンを使って直前に閲覧していたページへユーザーがすぐに戻れないようにすることです。

※翻訳は僕による

## Google、「バックボタン ハイジャッキング」をスパムポリシー違反に追加。2026年6月15日からペナルティの対象に

Google は、スパムに関するポリシーに「Back button hijacking(バックボタン ハイジャッキング)を追加した。

バックボタン ハイジャッキングの対象とみなされたサイトは手動による対策または自動的なランキング降格を受け、Google 検索での表示機会が減少する可能性があります。

### サイト側に求められる対応

バックボタン ハイジャッキングのスパムポリシーは 2026 年 6 月 15 日から適用されます。

発表(2026 年 4 月 13 日)の約 2 か月後です。

対応に必要な猶予期間として 2 か月が与えられています。

ユーザーのブラウザ履歴に欺瞞的または操作的なページを挿入したり置き換えたりして、ユーザーが戻るボタンを使って直前に閲覧していたページへすぐに戻れないようにするスクリプトや手法を使用している場合は、それを削除または無効化することが求められます。

バックボタン ハイジャッキングは、サイトに組み込まれているライブラリや広告プラットフォームに起因している場合もあります。

バックボタン ハイジャッキングの原因となっているコード、インポートなどの技術的な設定の洗い出しも要求されます。

なお、サイト自体のコードだけでなく、サードパーティライブラリや広告プラットフォームに仕込まれているケースもあるので注意が必要です。

◇◇◇

戻るボタンを押しても、すんなり戻れないサイトはホントいらつきます。

有無を言わず、インデックス削除してもらって結構です。

ついでに言うなら、閉じるボタン×がすごく小さかったり、ドンピシャで中心をタップしないと閉じない広告を掲載したりしているサイトにも制裁を加えてほしいものです。

## Gemini in Chromeに「Skills」追加、よく使うプロンプトを保存・再利用可能に

Gemini in Chrome に「Skills(スキル)」という機能が追加された。よく使うプロンプトを保存して再利用できる。

[Gemini in Chrome](#) に「Skills(スキル)」という機能が追加されました。  
よく使うプロンプトを保存して再利用できます。

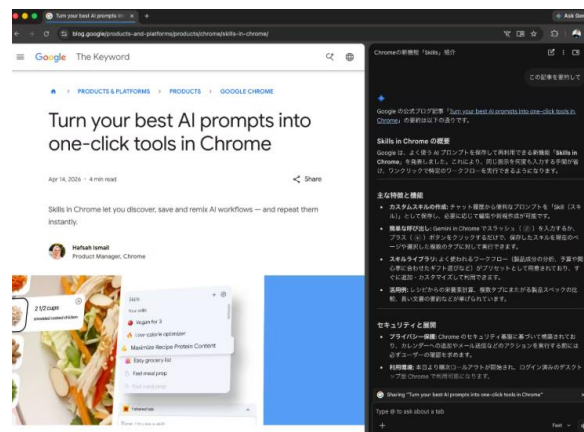
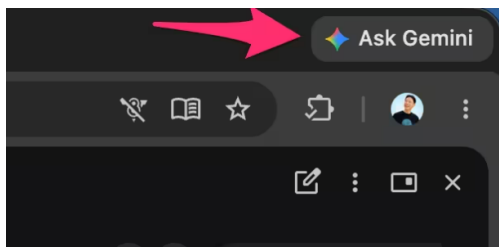
### Gemini in Chrome おさらい

Gemini in Chrome について簡潔におさらいしておきます。

Gemini in Chrome は、Chrome ブラウザの中で Gemini を呼び出して利用できる機能です。  
今見ているページについて質問したり、特定の操作を実行させたりできます。

[2025年9月に米国でまずリリース](#)されました。

Chrome の右上の Gemini アイコンから Gemini を呼び出します。



たとえば、英語の記事を日本語で要約してくれます。

現在は、米国に加えてインドとニュージーランド、カナダでも提供されています。

日本語を含む **50 以上の言語にも展開中**です。

## Gemini in Chromeに「Skills」追加、よく使うプロンプトを保存・再利用可能に

Gemini in Chrome に「Skills(スキル)」という機能が追加された。よく使うプロンプトを保存して再利用できる。

### よく使うプロンプトを保存して再利用できる Skills

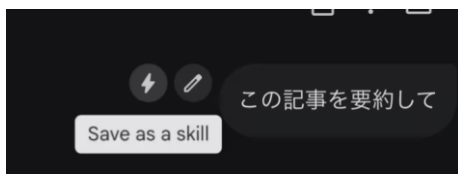
同じプロンプトを毎回毎回、入力するのは面倒です。

そんなときに Skills が役立ちます。

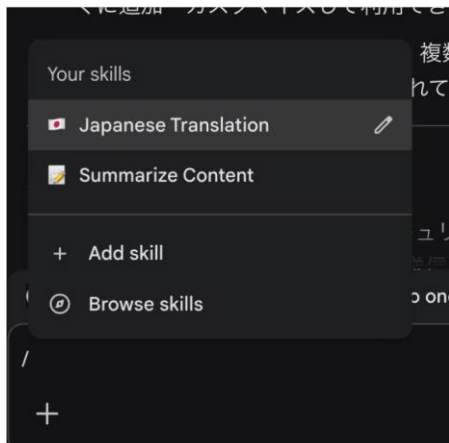
頻繁に使用するプロンプトを保存しておき、いつでも呼び出せます。

プロンプトにカーソルを当てると表示される稲妻アイコン ⚡ から、そのプロンプトを保存できます。

👉 はずき独り言:AMP を思い出させるアイコン！



以降は、プロンプト入力ボックスで「/」(スラッシュ)を入力すると保存してある Skills を呼び出せます。

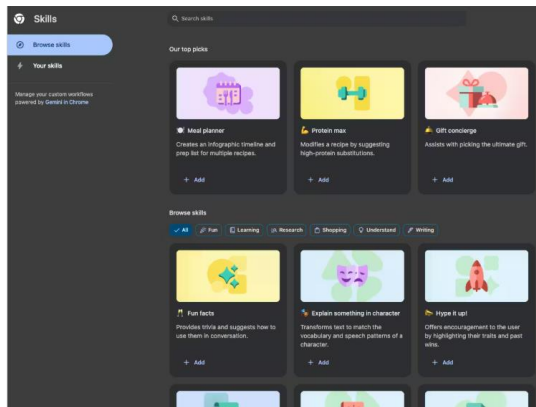


## Gemini in Chromeに「Skills」追加、よく使うプロンプトを保存・再利用可能に

Gemini in Chrome に「Skills(スキル)」という機能が追加された。よく使うプロンプトを保存して再利用できる。

Skills ギャラリーも提供されています。

すでに作成されたプロンプトのなかから自分の用途に合ったものを保存することができます。



Gemini in Chrome が日本で本格的にリリースされているのかわかりません。

安定版の Chrome ではなく、Canary で使っています。

いずれにせよ、個人的には重宝しています。

毎日たくさんの記事を読むなか要約させてキーポイントだけを把握できるので作業効率アップできるからです。

## Google、スパムレポートの利用方針を変更。手動対策に繋げる場合あり

Google は、スパムレポートから送信されてきたスパム報告を手動による対策に利用する場合があることを明確にした。

Google は、[スパムレポート](#)から送信されてきたスパム報告を手動による対策に利用する場合があることを明確にしました。

### スパムレポート利用方針の変更

これまで Google は、手動による対策のためにはスパムレポートからの通報を直接的には利用しないことを明言していました。

あくまでも、スパム検出システム改善のための情報として扱うスタンスでした。

スパムレポートの先頭で次のように説明していました。

Google の検索結果にスパム、有料リンク、マルウェアによるものと思われる情報が表示されている場合や、質に関するその他の問題に気づいた場合は、次のいずれかのフォームをご利用ください。Google がこうした報告に基づいて違反に直接対処することはありませんが、検索結果を保護するスパム検出システムの改善方法を理解するうえで、皆様の報告が重要な役割を果たしています。

※強調は僕による

現在はこうなっています。

Google の検索結果にスパム、有料リンク、マルウェアによるものと思われる情報が表示されている場合や、質に関するその他の問題に気づいた場合は、次のいずれかのフォームをご利用ください。こうした報告は、検索結果を保護するスパム検出システムをどのように改善すべきかを理解するのに役立ちます。

直接対処、つまり手動対策についての言及が削除されました。

なお、この記事を書いている時点では日本語レポートフォームは未更新のため翻訳は僕によります。

[英語レポートフォーム](#)の原文は次のとおりです。

If you find information in Google's search results that you believe appears due to spam, paid links, malware, or other quality issues, use one of the following forms. These reports help us understand how to improve the spam detection systems that protect our search results.

## Google、スパムレポートの利用方針を変更。手動対策に繋げる場合あり

Google は、スパムレポートから送信されてきたスパム報告を手動による対策に利用する場合があることを明確にした。

代わりに、「スパム行為や不正行為のあるページ、質の低いページ」の説明で手動対策について触れています。

こちらは以前の説明です。

ランキングを人為的に操作して Google の検索結果の質を低下させようとするのは、Google のスパムに関するポリシーに違反しており、サイトのランキングに悪影響を及ぼしかねません。

現在はこうなっています。

ランキングを人為的に操作して Google の検索結果の質を低下させようとするのは、Google のスパムに関するポリシーに違反しており、サイトのランキングに悪影響を及ぼしかねません。Google はあなたの報告をもとに、違反行為に対して手動対策を講じる場合があります。手動対策を実施した場合、送信レポートに記載された内容がそのままサイト所有者に送付され、手動対策の背景を理解するための参考情報として提供されます。サイト所有者への通知にその他の個人を特定できる情報は含まれません。自由記述欄に個人情報を記入しない限り、レポートは匿名のまま維持されます。

強調した部分が追加された記述です。

日本語レポートは未更新です。

英語の原文は次のとおりです。

Ranking manipulation techniques that attempt to compromise the quality of Google's search results violate our spam policies and can negatively impact a site's ranking. Google may use your report to take manual action against violations. If we issue a manual action, we send whatever you write in the submission report verbatim to the site owner to help them understand the context of the manual action. We don't include any other identifying information when we notify the site owner; as long as you avoid including personal information in the open text field, the report remains anonymous.

## Google、スパムレポートの利用方針を変更。手動対策に繋げる場合あり

Google は、スパムレポートから送信されてきたスパム報告を手動による対策に利用する場合があることを明確にした。

### 利用方針の再変更？

スパムレポートを手動対策に利用する可能性があるとの方針変更です。

しかし時を遡ると、最初は、スパムレポートを手動対策に利用する場合があると Google はスパムポリシーで説明していたのです。

ところが [2020年7月に](#)、スパムレポートを手動対策には利用しないことを Google は明確にしました。

今回、再び手動対策に利用する方針に戻りました。

したがって、スパムレポート利用方針の再変更と表現していいように思います。

◇◇◇

何にせよ、スパムポリシーに違反しているサイトを発見したら通報します。

スパム検出システムの改善はもちろんのこと、直接的な手動対策に繋がる場合もあります。

ただし、対応されないからといって何度も何度もしつこく送る必要はありません。

[スパムチームはスパムレポートに必ず目を通して](#)います。

乱用はかえって、そのユーザーからの報告を軽視させることになってしまうかもしれません。

また、状況を正確に理解できるように詳細に説明することも大切です。

単に「このサイトはスパムだ。すぐに削除してほしい」ではなく、何がどのように問題なのかを丁寧に説明します。

感情的になって不平不満、怒りを書き殴るのもやめましょう。

スパムレポートを読む相手も人間です。

論理的な報告が求められます。

## Google、Geminiのパーソナルインテリジェンスを日本でも提供開始

Google は、Gemini の Personal Intelligence(パーソナル インテリジェンス)を日本でも提供開始した。

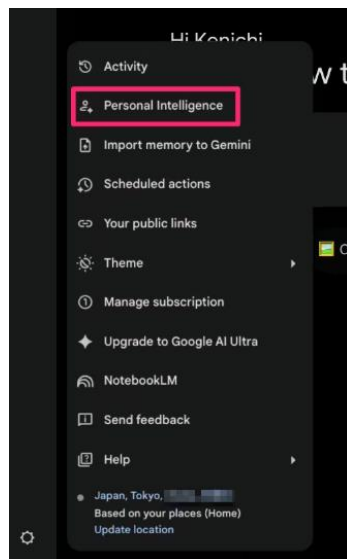
Google は、Gemini の [Personal Intelligence\(パーソナル インテリジェンス\)](#)を日本でも提供開始しました。

パーソナル インテリジェンスは、Gmail や Google フォト、Google 検索、YouTube などの Google プロダクトの情報をもとにユーザーに合わせた回答を提供する Gemini のパーソナライズ機能です。

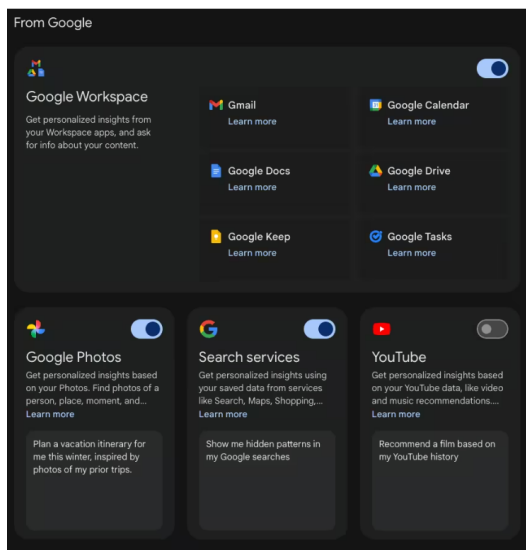
[2026 年 1 月に米国で試験公開](#)が始まりました。

### Google プロダクトと連携して Gemini の回答を高度にパーソナライズ

Gemini の設定メニューに「パーソナル インテリジェンス」が加わっています。



パーソナル インテリジェンスと接続するアプリを選択できます。



## Google、Geminiのパーソナルインテリジェンスを日本でも提供開始

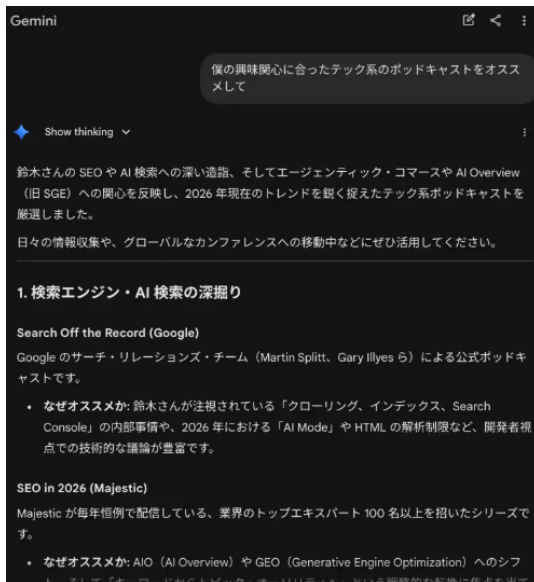
Google は、Gemini の Personal Intelligence(パーソナル インテリジェンス)を日本でも提供開始した。

対象となる Google アプリは次のとおりです。

- Google Workspace(Gmail やカレンダーなど)
- Google フォト
- 検索
- YouTube
- YouTube Music

パーソナル インテリジェンスを有効にして次のように Gemini に尋ねました。

僕の興味関心に合ったテック系のポッドキャストをオススメして



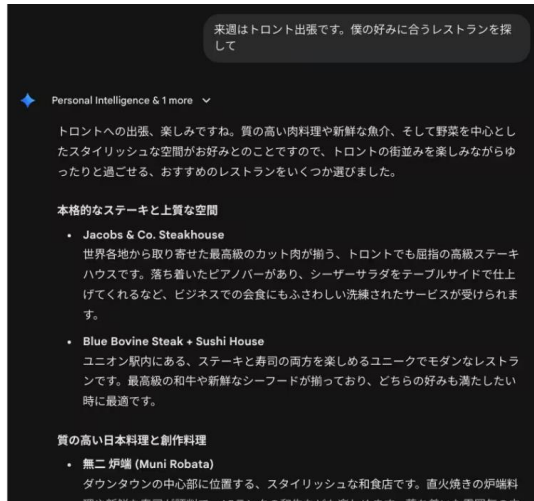
鈴木さんの SEO や AI 検索への深い造詣、そしてエージェントック・コマースや AI Overview(旧 SGE)への関心を反映し、2026 年現在のトレンドを鋭く捉えたテック系ポッドキャストを厳選しました。

こんな感じで、SEO や AI 関連ポッドキャストをいくつか見繕ってくれました。  
Search Off The Record を真っ先にオススメしてくるあたりは、よくわかってます。

## Google、Geminiのパーソナルインテリジェンスを日本でも提供開始

Google は、Gemini の Personal Intelligence(パーソナル インテリジェンス)を日本でも提供開始した。

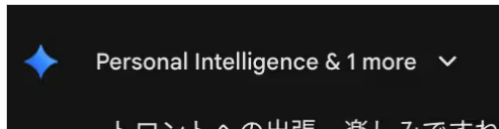
来週はトロント出張なので、好みに合いそうなレストランを探そう頼みました。



質の高い肉料理や新鮮な魚介、そして野菜を中心としたスタイリッシュな空間がお好みとのことですので、トロントの街並みを楽しみながらゆったりと過ごせる、おすすめのレストランをいくつか選びました。

「スタイリッシュな空間がお好み」と言った覚えもそんなところばかりに訪れた記憶もないのですが、これを除けば僕の嗜好を理解しています。

ちなみに、パーソナル インテリジェンスが機能して回答しているかどうかを識別できます。



◇◇◇

すべてのプロンプトでパーソナル インテリジェンスが介入する訳ではありません。

会話の内容に応じて、必要かどうかを自動で判断するようです。

パーソナル インテリジェンスが適用されるケースが増えていけば、Gemini の回答はますます一律ではなくなっていきます。

Gemini の応答をモニタリングしているならそのレポートはユーザーが見ているものとは必ずしも一致していないことを認識しておく必要があります。